

# 校長室より

令和7年3月24日(月)

「ありがとうございました」



いよいよ令和6年度も残すところ1週間となりました。振り返ってみると、私自身にとってとても有意義な1年間でした。いろいろ大変なこともありましたが、まわりの人たちのおかげでなんとか乗り越えることができました。以前、私の尊敬する先輩の先生は私にこう教えてくださいました。

「いいか。トラブルなど大変なことは起こって当たり前。そのとき、いかに迅速に誠実に対応するかが大事。あとはいつもニコニコしている。みんな安心するから。」

いくつもの困難を乗り越えてこられた先輩だからこそ、その言葉にはとても重みがあり、時代が変わっても不易の部分なのだと思います。

さて、坂井中学校では学期ごとに目標を定め、生徒のみなさんに意識を高めてもらいました。令和6年度は学期ごとにそれぞれ「あいさつ」「本気」「感謝」を目標に掲げました。先生方もこれらの目標の実現に向けて骨を折ってくださり、たくさんの生徒が努力してくれました。そのおかげで、学校は少しずつ明るくなり、みなさんの行動にメリハリが付き、人を思いやる気持ちが育ってきたように思います。本当によくがんばってくれました。

この「あいさつ」「本気」「感謝」について、日本の国会の答弁でこれに似たような回答をした大臣がいらっしゃったので紹介します。それは、2017年3月15日の参議院予算委員会で、山本太郎参議院議員が「人間が生きる上で(空気の次に)2番目に大切なものは何だと思いますか。」と質問したときのことです。当時の麻生太郎財務大臣は次のように答弁しています。

「人間が生きていくうえで大事なことは、朝、希望を持って目覚め、昼は懸命に働き、夜は感謝とともに眠る。この気持ちだと思っています。」

さあ、令和7年度はすぐそこまでやってきています。みなさん、今日の夜あたり静かに目を閉じて、今までを振り返り「ありがとうございました。」と心の中で言ってみてください。最後に、保護者のみなさま、お子さまをいつも温かく見守っていただき、ありがとうございました。令和7年度もよろしくお願いたします。